



ROTARY INTERNATIONAL

ガバナー月信

1988年7月20日

No. 2

Governor's Monthly Letter

国際ロータリー第276地区

ガバナー 高沢 隆

〒440 豊橋市花田町石塚42-1

豊橋商工会議所内

PHONE 0532-55-8222

F A X 0532-53-6447

DISTRICT 276

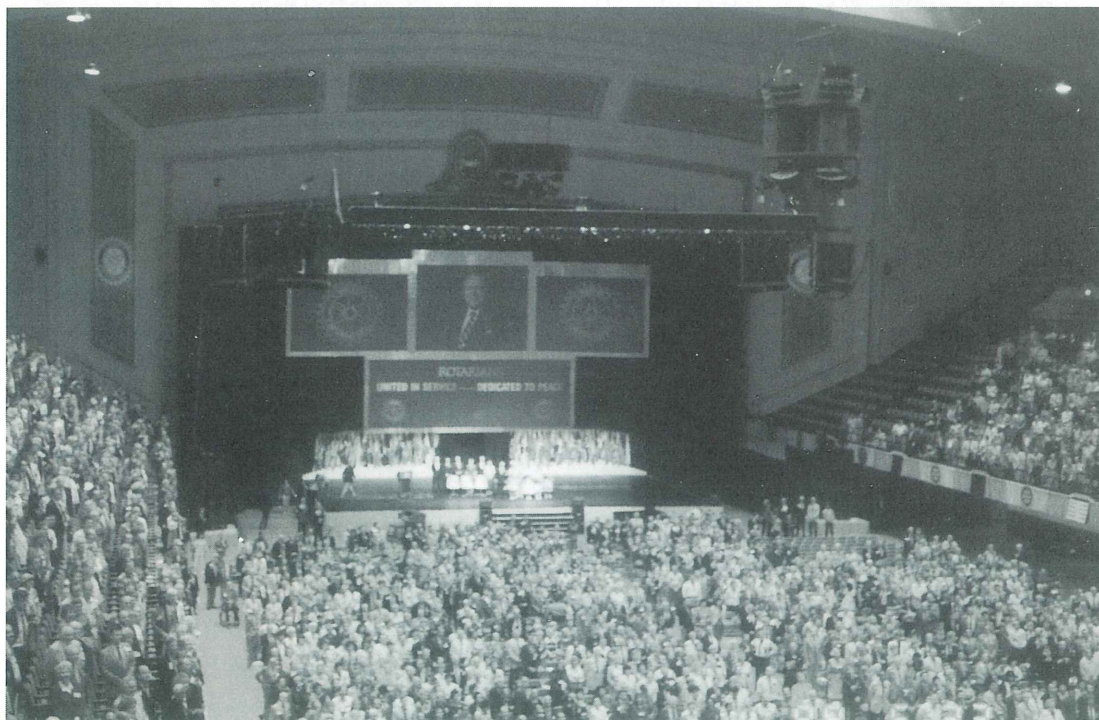
Governor Takashi TAKAZAWA

42-1, ISHIZUKA, HANADACHO

TOYOHASHI, JAPAN PC 440

PHONE 0532-55-8222

FAX 0532-53-6447



フィラデルフィア国際大会本会議場

フィラデルフィア国際大会に参加して——ガバナー 高 沢 隆

フィラデルフィアは“アメリカ合衆国誕生の地”、市の中心に建つ白亜の大建築、シティホルの塔の先端には、300年前に街を建設したイギリス人ウィリアム・ペンの像が立ち、古都フィラデルフィアの成長を見守っております。

国際大会は5月21日より25日まで、シビックセンター内のコンベンションホールで開催され、総参加人員は16,316名、うち日本人は797名とのことであります。

276地区からの参加者数は不明ですが、田中ガバナーはじめ地区内の多くの会員とお会い出来、さらに小生の激励のため特別に参加していただいた豊橋クラブを中心とした24名との昼食会。ペンシルベニア大学に留学中の財団奨学生浅井英彰君ご夫妻とお会いしたことなど、思い出はつきません。

野口英世博士の胸像除幕式

5月23日、会場前に於いて、京都城陽R.C.の寄贈した野口英世博士の胸像の除幕式が行われました。この胸像は同クラブの金井征之会員の製作したものであります。この除幕式には、向笠R.I.元会長、千R.I.理事はじめ多くの日本人が参列し大へん感銘ふかいものであります。野口博士は、1900年12月アメリカに渡り、最初に就職した大学が、フィラデルフィアのペンシルベニア大学の無給助手であったとのことです。この大学で恩師フレクスナー博士の指導のもとに世界的な科学者に育っていったのであります。



野口英世博士胸像の前で



ケラー前会長とアビー新会長

この胸像は同市の野口英世博士記念研究センターの玄関に飾られます。

ポリオプラス寄付目標達成

5月24日の本会議の席上、ポリオプラス寄付の申込額の発表が行われ発表された金額は当初誰もが予想しなかった2億1千9百ドルと云う巨額でありました。これは目標1億2千万ドルに対して83%の増であります。日本はアメリカについて2番目で2千7百万ドル。ロータリーの偉大な世界奉仕計画が大きく前進したことに心から敬意を表したいと思います。

276地区のポリオプラス寄付も、おかげをもちまして順調に増加致しております。達成期限は91年度となっておりますが、出来うれば本年中に完納出来る様、各クラブのご理解を願う次第です。

来年の国際大会はソウル

次の国際大会は明年5月21日より5日間韓国ソウルで行われます。今大会には韓国より多数のロータリアンと家族が参加され、本会議で、又朝食会で熱心に参加を呼びかけました。特に

日本には多くの期待をよせております。わずか1時間30分の距離であり、友好クラブを多くもっている276地区としては、ご家族ともども多くの会員の参加を願ってやみません。



R.財団奨学生の浅井英彰ご夫妻と

8月は会員増強拡大月間

新クラブ結成の手順について

ガバナー 高 沢 隆

新クラブの結成は会長さんの決意次第！

新しいクラブを結成することは、クラブ会長さんにとって、年度中の最も感動的な行事であります。新しい会員多数の獲得により、地域に友情と奉仕の輪を大きく広めることが出来ます。結成の障害になると思われる問題、反対する意見などは、会長さんの決意次第で一掃出来ます。私は、D.276のクラブの過半数は、拡大の可能性があると信じております。クラブ会長さんのご決意を念願致します。以下結成の手順を述べますからご参考にして下さい。

調査（拡大調査報告）

調査はガバナー、地区拡大カウンセラー、又は近くのロータリークラブの会員が行います。

- ①特別代表の委嘱
- ②地域の人口、経済的見直し、及地域の諸施設
- ③地域に職業分類が40以上あること。
- ④結成のため中心となるKey Men5名の推薦

特別代表の任務

特別代表は、なるべくスポンサークラブから任命され、クラブの結成に至るまでの細目について、ガバナーを代表して事を行う権限を有しております。

スポンサークラブの手順

- ①アディショナルクラブ結成の承認
区域の共有、いわゆる2階建の場合
- ②区域限界修正の承認
区域限界の割譲における場合
- ③ロータリークラブの設立に関する合意
①―③については、いずれも例会において出席会員の過半数の賛成によらねばならない。

拡大委員会の任務

拡大委員会は、特別代表の指導のもとで、次の結成のための準備を致します。

- ①クラブの地域を表示する様な名称の案
- ②創立会員の獲得。20名以上で、職業分類は出来るだけ多数多様であることが望まれます。又同一業種からは10%を超えることが出来ません。
- ③例会日、例会時間、例会場、年会費、入会金等の案の作成

結成グループ会議

特別代表の指導のもとで、拡大委員と新クラブの会員となることを承諾したKey Menによって開催し、拡大委員会の案を確認し、新会員の獲得、仮クラブ例会開催の準備等を致します。

創立総会例会（仮クラブ例会）

創立総会は、入会を承諾した人達の参加による仮クラブ例会を数回行ったあとに開催致します。創立総会に於いて、クラブは国際ロータリーへの加盟を申請致します。申請に必要な書類は次の通りです。

- ①200ドル或いはその相当額の小切手
- ②R.I.加盟申請書
- ③創立会員名簿
- ④(必要であれば)新クラブの区域限界を示す地図

スポンサークラブの義務

スポンサークラブは、新クラブが活動を始めてから少なくとも最初の一年間は、その進行状況に関する報告書を、3ヶ月ごとに、日本支局に提出しなければならないことになっております。

結成のご相談はガバナー事務所に

新クラブ結成についてのご相談はガバナー事務局にお申し出下さい。
担当者は神野紀郎副幹事です。

分 ◆ 区 ◆ 代 ◆ 理 ◆ ————— ◆ 挨 ◆ 拶

新年度を迎えて

尾張第一分区

分区代理 吉 田 守

1988—1989年度第 276 地区尾張第一分区代理の委嘱状を戴き、ロータリアンとして責務の重大さを痛感して、如何に之を全うするべきかと日々初心に還って修得に励んで居る次第であります。地区としては、昨年度誕生した知多クラブを含めて 6 クラブは知多半島内でまとまった分区で、7 月新年度からの事前訪問、ガバナーの公式訪問に際し、同行して、各クラブとの連絡やロータリー情報の伝達、ガバナーの諮問に之を報告する任務を戴いて居る訳であります。各クラブの意見や情報を交換提供して戴いて、地域のロータリー活動をニーズに合った活力のある各々の奉仕活動を目的としたロータリー活動のより一層の発展を願うものであります。理

想は高いのですが、果してどの様にすればその一部でも実現可能なのか。先ず会長、幹事さんを始め、全会員に R.I. 会長やガバナーの方針や意志を理解し、実現して戴く様に努力する事であると考えて居ります。クラブの事前訪問に際しても、就任前半前にガバナーノミニーから御指導を受け乍ら、五里霧中の状態の中で始めようとして居り、戸迷う事許りであります。然し乍ら、夫々のクラブ会員のロータリーの友情と御理解によって、分区代理として御手伝いすることが出来れば誠に幸いであります。亦 I.G.F. につきましては、分区内ロータリークラブの情報交換、親睦の場として会員の格別の御理解御協力により、その目的が達成出来ます様に御願い申し上げ、高沢ガバナー、地区役員の皆様の御指導を戴き分区代理の任務を全うする決意であります。

ロータリアンの皆さんの活力を！

名古屋第一分区

分区代理 渡 辺 裕

5 月中旬に名古屋において、厚生省・愛知県主催のもと「健康と長寿に関する国際長寿科学シンポジウム——健やかさ明るさを求めて——」が盛況裡に開催されました。わたくしどもの体はおよそ 100 兆個の細胞からなりたっていますが、1 個の受精卵が細胞分裂をかさねて増えつつ、多様な機能をもった 200 種ほどのことなった型の細胞に分化し、組織や臓器の中でそれぞれの機能を分担し、エネルギー代謝を営みつつ生きています。しかし細胞の寿命は種類によりことになっており、年をとった細胞も若い細胞もあり、すなわち「年をとる細胞」と「年をとらな

い細胞」がいるわけで、「年をとらない細胞」というのは細胞分裂により増えつづけ生きつづける細胞であり、木の幹という名をとり「幹細胞」とよばれ、人類の夢である不老・不死の遺伝子の存在などが想像されています。またすべての細胞は調和のとれた生命活動を維持するために総力をあげており、1 つの個体を 100 兆個の細胞からなる社会にたとえると、この社会をつらぬいている原則は他への奉仕主義であり、さらに自己参加のない、動的協力性のない組織には生命はないと強調されています。

名古屋第一分区のロータリアンの皆さん！この幹細胞のような活力を発揮して、例会やロータリー活動に積極的に参加されるとともに、ロータリーの増強・拡大、ロータリー財団基金への寄附などをはじめ、地区ガバナーの要請され

る課題に貢献されることを願っております。人間が生きるための生命科学には、ひたすら生きる、たくみに生きる、わきまえて生きる、正し

く生きるの4つの“生きる”が必要とされています。ロータリーを生かすのも、またロータリーが生きるのも、同じことでありましょう。

ごあいさつ

名古屋第二分区

分区代理 蜂 谷 弘 道

千里を行く旅人は歩速は自ら定まる。急ぐことなく、怠ることなく、遅々たる努力の末、初めて千里の彼方に至る。

ロータリーの光栄ある80年余の歴史と、さらに未来永劫の発展と栄光は、ロータリアン各位の品位ある叡智と千里を行く旅人の如く絶ゆまぬ努力が必要かと思ひます。

従って今一度ロータリーの原点であるポール・ハリスの唱えた職業奉仕の理念に徹し、ロータリアン相互の友情を深くし、魅力ある充実したロータリーのクラブライフがあつて初めて外に向つて活力ある奉仕が出来るものです。

R.I.会長ロイス・アビー氏の言われる『ロータリーに活力を一あなたの活力を』のターゲットを、国際奉仕に、社会奉仕に、青少年奉仕に実行するためには、分区内各々のロータリークラブの充実が最も望まれるのです。分区内近隣クラブはお互いにそのクラブの素晴らしい業績

特色を知り敬意を尽くしてお付き合いし、建前は別としても、本音で付き合えるようにはかりするのが、分区代理の仕事の一つかと思ひます。

ロータリアンの最も留意すべきことは、職業奉仕に誠意を尽くし、ふさわしい社会的業績と利潤を挙げ、その余力をもって優しい思いやりのある奉仕活動を実践することにあると思ひます。従つて本年度の名古屋第二分区のI.G.F.目標もそのあたりに焦点を定めたいと考えております。ロータリーの会員に充分なる奉仕をして頂くためには、クラブの会長は日頃例会で楽しい心暖まる雰囲気を保たねばなりません。言うなれば会長は、クラブの方向を定めると同時に、会員に対して充分なるホストを勤めることが必要だと思ひます。その苦勞される会長さんに対してホストするのが分区代理であると思ひます。

本年度R.I. 276 地区高沢ガバナーの御指示を受けて会長さんのために下働きをするのが私の役目であります。身に余る大役でございます。宜敷くロータリアン皆様の御支援をお願い致します。

国際大会に思う

東尾張分区

分区代理 加 藤 守

フィラデルフィアの国際大会に出発する前日に、ガバナーノミニ事務所よりガバナー月信2号に寄稿するべく書面を頂戴した。5月末帰国の予定でしたので締切日に間に合いそうもなく、結局道中の飛行機の中で書くことになり標題のテーマとしました。

外国での国際大会へは初めての参加でしたので、当初はかなり緊張していましたが、各国ロ

ータリアンとバナーを交換し、笑顔を交わすうちに国際大会参加の喜びが徐々に湧いて来ました。ヨーロッパや中南米諸国のロータリアンとは言葉は解らずとも固い握手をするだけでお互いに意を解することが出来、同じ奉仕の理想に向かつて努力する同志的連帯感をつくづく感じ、参加してこそ味わえる満足感に浸ることが出来ました。ロータリーは理屈ではなくクラブの例会や行事に、I.G.F.に、地区大会に出席してこそロータリーの神髄に触れることが出来るのではないかと、国際大会の雰囲気の中で痛感しました。

そこで、本年度のR.I.のテーマであります「ロータリーに活力を——あなたの活力を」を実践するためにはもう一度初心に返ること。即ち、私たちが色々なロータリー行事に参加することに依ってロータリーの感慨を新たにし、そこに集う立派なロータリアンから啓発を受け、自己を研ぐことで私たちに真の活力が、そして奉仕への行動意欲が湧いてくるのではないかと思います。

ロータリーは相手の身になって考えろと言われます。幸いにも、我国は単一民族国家で「以

心伝心」と言う言葉もありますように、比較的容易に相手の気持ちを察することが出来ますが、国際大会を終えて米国内を旅行した時に多民族国家の複雑さ、難しさを至るところで感じさせられました。特に奉仕は、する人とされる人とが平等の人格のもとで実施されなければ、下へは「施し」となり、上へは「報酬の期待」となって本当の意味の奉仕になりません。ロータリアン同志は別としても国際奉仕の重要性和共に大変難しい問題も有ることを認識しなければなりません。

よき連絡員として

西尾張分区

分区代理 加 藤 千 博

国際ロータリー第276地区1988—'89年度の西尾張分区の分区代理として、ガバナーより委嘱されました。その職務を与えられましたかぎりには、より多くの奉仕の機会を与えられたと思われ、微力ではありますが出来得限りの努力を致したいと思って居ります。よろしく御指導、御鞭撻賜わります様お願い申し上げます。

さて、私が半年前に委嘱を受けました時は全然心構えが有りませんでしたので、経験されました諸先輩の御指導を仰いだり、分区代理の職務について手続要覧等を慌てて見たりし、その役割について臆げながら見当をつけた次第です。その後、数回の会議に出席するうちに、その責任の重大さを痛感し当惑している今日此の頃で

す。とはいえ、そんな事をいって嘆いてもいられず、手続要覧に書かれているように、分区にある各クラブの管理責任者を援助するための非公式なガバナー代理として、又、その分区内のクラブ会長と高沢ガバナーとの間のよき連絡員となれますように心掛け、努力をしたいと思って居ります。

既にR.I.会長は大目標であるターゲット“ロータリーに活力を——あなたの活力を”と“12の要請課題”と称して、細部にわたる目標を明示されて居ります。高沢ガバナーも会員の拡大、増強、それらに伴う新入会員のロータリーへの同化（教育）等に力を入れて欲しいと要請されています。これから多くのアドバイスがなされると思います。高沢ガバナーの方針の元、各クラブの特色が生き、益々発展飛躍を願ひまして1年間頑張りたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

1988—1989年度を迎えて

三河第一分区

分区代理 岩 瀬 正 雄

4月22日江南市民会館において、1988—'89年度のための第276地区協議会も盛大且つ有意義

に行われ、高沢ガバナーを始め多くの方々からご懇切なご教導を戴いたほか。新年度を迎えるに当たっての総ての諸行事も終え愈々新しい年度の幕開けとなりました。

本年度の三河第一分区代理として、聊か緊張と不安な今日此の頃ではありますが、この一年間

何卒よろしくお願い申し上げます。

これ迄2回に亘る分区代理会議や、クラブ会長エレクト研修セミナー等でガバナーの、ご方針及びご示唆をもとに分区の諸活動のスケジュール及び諸々の願いも去る5月26日次期会長、幹事会においてご協議の上ご決定を戴きました。

分区代理の任務は、クラブとガバナー間の連絡員としてガバナーを援助する非公式な代理で、ガバナーは分区代理に職務の委任はしないと同時に又分区代理には何等の権限も有さないが、忠実なロータリアンとして又いくつかの任務があり、そのなかの分区内のクラブの訪問については公式訪問とその事前訪問があります。その節にはよろしくお願い申し上げます。又分区としての大きな行事でもあるI.G.F.については、

本年度は新城クラブをホストとしてお願いを申し上げます。開催日は来年1月29日を予定しておりますが種々、ご協力及び多数のご参加の点についても併せてお願いを申し上げますと共に、特にホストクラブの方々には何かとお手数やご配慮も煩わす事も多いかと思われませんが有意義な会の催しとなるべくよろしくお願い申し上げます。

本年度のR.I.会長、ロイス・アビーさんの「ロータリーに活力を一あなたの活力を」のテーマがありますが、高沢ガバナーの提唱される「活力とは行動を意味し」「ロータリーの活動とは何を云うのでなく、何を行うかにある」と云われる、この基本により実践、活動をしなければならぬこの一年かと思ひます。

明るく楽しく輪を広げ

三河第二分区

分区代理 吉 田 五 郎

此の度計らずも、R.I. 276 地区三河第二分区代理に推薦を戴き恐縮しております。もとより浅学非才その任ではありませんが、素晴らしい諸先輩の皆様方の暖い御指導御支援を戴き、高沢ガバナーと関係クラブの連絡員として、一生懸命努力する覚悟ですので宜しく御願い申し上げます。

私達は厳しい人生行路の中で、天地自然の恵を受け、多くの人々の愛と誠にはぐくまれかけがえのない人生を、健康で勤労に汗を流す生活の出来事ことは、誠に喜びであり感激であります。然しながら、幸であるべきはずなのに不運に喘ぐ薄幸の人の多きことも決して忘れてはならないと思ひます。奉仕の原点は感謝であり努力ではないでしょうか。私達は83年の輝かしい歴史をもつ国際ロータリーに仲間入りさせて戴いておりますが、はばたくロータリー愛知、

長野R.I.260地区史を拝見させて戴き、先輩の皆様方の風雪に耐えながすばらしい御努力と実績、教訓等々感銘いたしました。私達は此の栄光をけがすことなく、道標を少しでも摂取しながら努力しなければと思っております。西三河は気候風土に恵まれ、緑豊かで矢作川・境川・三河湾一衣帯水であり、計り知れない恵を受け、母なる川であり海であります。然しながら高度成長社会は川を汚し海を荒す。川にござれば海又おなじ、河川浄化は全住民共通のテーマであり、文化生活の根源であります。正に運命協同体と申せましょう。1人1人、1軒1軒浄化への心づかい奉仕の心と思ひます。当地区人口123万余、12ロータリークラブ、会員940名、62年5月度、不思議な縁に結ばれた私達、信頼と友情とチームワークで、ロータリー精神の具現に一步一步確実に進みましょう。R.I.本年度テーマ「ロータリーに活力を一あなたの活力を」明るく楽しく、奉仕の輪を広げましょう。1人増えれば1人、10人増せば10人輪が大きくなり、奉仕の拡大であり、活力となります。

地 ◆ 区 ◆ 委 ◆ 員 ◆ 会 ◆ ————— ◆ 活 ◆ 動 ◆ 方 ◆ 針

クラブ奉仕の重要性

地区クラブ奉仕委員長 中 村 繁 男
(岡崎南R.C.)

クラブ奉仕は唯一の内へ向っての奉仕である。ガバナーの御指示によりクラブ内部の奉仕に対し適切なアドバイスをすることが地区クラブ奉仕委員会の任務である。従ってクラブ例会のあり方、定款・細則の運用等について常に研究を怠ってはならないと考えている。

地区協議会においては、「例会運営のマンネリ化」について特に話し合いを持った。何かひとつ目新しい試みを採用してほしいとお願いした。例会が楽しくなければ、出席を奨励することは無理というものである。ロータリーの綱領の第1、「奉仕の機会として知り合いを広めること」はクラブ奉仕の目標である。老若、新旧を問わず、どの会員にも喜ばれるような例会プログラムを組むことがクラブ奉仕の第一歩である。

会員増強を急ぐのあまり、職業分類の看過され易いことはうれうべきことである。関連する業種が10%を超えていないか。均衡のとれた会員組織が維持されているか。「手続要覧」に明示されているこれらの要望が守られているかどうか。全正会員（シニアを除く）の職業分類を分析することによって、過不足はおのずから明らかになるはずである。

R.情報の伝達及び教育は不可欠である。今やI.G.F.さえも、かたよったイベントとなりつつある。情報伝達の手段・方法が著しく減ってしまったことは否めない。我々はファイアサイド・ミーティングやI.G.F.を通じて、先輩ロータリアンから色々なことを学んで来た。各クラブに

おいて新入会員の教育に一層の配慮がなされることを期待したい。そのためのお手伝いには骨身を惜しまないつもりである。何なりとお申しつけ頂きたい。

9月名古屋でR.情報・広報の関連委員長会議、2月岡崎でクラブ奉仕・雑誌の委員長会議を開催の予定である。御協力をお願いしたい。

会員をふやそう

地区会員増強委員長 宮 本 邦 蔵
(名古屋西R.C.)

クラブの老化防止、会員増強を必要とします。産業構造の変化は、新しい職業を生み出します。新しい職業人を迎えなければなりません。世界は狭くなって来て居ります。お互の理解と協力が益々必要となって来ます。ロータリアンの力が大いに役立つでしょう。

会員増強の必要が日に日に強まって来て居るのであります。

会員を増強することは、会員一人一人の権利であり、義務であります。会員に関心を持ってもらう、行動を起してもらう。そのお膳立をするのが、会員増強委員会の仕事ではないでしょうか。

自分のクラブの構成を分析してみましょう。未充填の職業分類は？新しい職業分類のオープン？職業分類委員会と密な連絡をとりましょう。正会員、シニアアクティブ会員等の分布は？年令構成は？クラブの増強の推移は？

クラブの構成を分析することによって、向うべき方向が浮んで来るのではないのでしょうか。クラブの実態を理解してもらい、向うべき方向を力強く訴えれば、実のある会員増強に結びつ

くのではないのでしょうか。地区会員増強委員会はこのお手伝いをしたいと思います。

本年度R.I.会長は「10%の増強目標。若い会員の入会」を要請して居られます、努力してみようではありませんか。

会員増強について、期中、R.I.会長、ガバナーから、指針を示され、ご要請があるかと思えます。地区委員会として遅滞なく、各クラブへお伝えし、お力添へが出来ればと考えて居ります。

広報の二つの面について

地区広報委員長 山 田 昇 平
(名古屋大須R.C.)

マスコミが発達し、情報過多と言われる現在の日本の場合でも、残念乍ら一般の人々のロータリーについての認識は極めて少ないことは否定できません。(或る地区の統計によれば100人中2人位しかロータリーの存在そのものすら知っていないと言われています)

手続要覧の広報の項には「広報によって人々の注意を引くこと」更に「広報の効果を一段と高める方法として、より明確に広報に焦点を合わせた活動を採用することを考慮すべき」と書かれて居ますが、私はマスコミ用の奉仕活動をやれという意味でなく、むしろ「マスコミが採り上げてくれる様な奉仕活動はその地域のニーズに合った、広く一般の人々とかわりあいや関心のあるタイムリーな有意義な事業だからニュースになるのだ」と考えるべきだと思います。

ところでロータリーで言う広報には二つの面即ち「内なる広報」と「外への広報」の両面があると思えます。

「内なる広報」とは各ロータリアンがロータリーの綱領、プログラム、活動に十分精通し、その意図と業績をその家族、事業所及び交友や職業上の知己に対し広く知らせる機会を持つこ

とであり、「外への広報」とはマスコミとの建設的な良き関係を維持すると共に、マスコミを利用した広報活動の必要性だと思います。マスコミに大きく採り上げられたものは、それだけロータリー精神になった活動であり、ひいてはロータリーというものの存在や意義を、より正しく一般の人々に理解して頂くのに役立っているのではないかと考えられるからです。

この内外2つの広報がバランスをとり、双方相俟って効果を挙げられる様、各クラブにお願いを致します。

恵まれた日本の職業奉仕

地区職業奉仕委員長 向 博
(小牧R.C.)

職業奉仕の理解はきわめてむづかしい。

何故？ビジネスというものは、極論を申し上げるならば、弱者の生存する世の中ではない。弱者は唯滅びるのみ、いいかえれば、強者のみが生存する原理が支配する世界である。

だから職業は利益を追求しなければならない。もしそれを怠れば、自からが滅びる。そこで利益をより多く求めざるを得ない。もし企業が倒産をし従業員をレイオフして職業奉仕が成り立つのだろうか、されば職業奉仕の原点は何にか。企業をそして、自己の職業を維持発展させる事にある。そこで昨年は潰れる企業の弱点は何か、潰さないために何をすべきかという問題に取組んだ。企業の再建王といわれるツガミの大山梅雄さんを招いて地区委員会で勉強をした。

さて今年は？時代はモーレツなスピードで変化している。日、米、欧の貿易摩擦、日、NIC S貿易摩擦まで起きようとしている。ある国一國が儲け過ぎているのからかもしれない。こちら辺に反省が必要かもしれない。

いずれにしても素晴らしい日本を感じる。それは今年R.I.が示した職業奉仕に於ける新方針

である。そのほとんどが日本のロータリアンに於いてクリアされている。読んでいくうちにこんな事は日本の実情に合わない、もうそれは過去の話だと……、読み終った後、世界にはまだまだこんな国が数多くあるのだ、恵ぐまれた日本を実感される事でありましょう。是非御一読を下さい。

そこで今年度は恵ぐまれた日本のロータリアンとして、ドイツの哲学者カントの言葉ではないが、人間最高の道德とは何にか？それは犠牲的精神であるという。

昨年度は潰れない企業を学んだ。今年度は恵ぐまれた日本を共に支えてきた従業員の皆さんの心を学ぼう。世界のトップの座についた日本の企業に、今一番大切な事は労使協調して世界をリードする事だ、それが職業奉仕につながる。

労働界の雄、元総評議長太田薫氏を囲んで、10月の職業奉仕月間には勉強会をいたしたいと思っています。

社会奉仕

地区社会奉仕委員長 梅 田 章 次
(岡崎R.C.)

次期社会奉仕委員長の委嘱を受けてから、日ならずして、膨大な資料が届いた。資料の冒頭に「文明世界では、地域社会の問題にかかわることなく、地域社会の苦悩に顔をゆがめることもなく、また、地域社会の目的に鼓舞されることもなく、地域社会の指導者にまで昇りつめることはできない」ーウィストン、チャーチルー早速引用させていただきますが難解です。

社会奉仕とは

ロータリーにおける社会奉仕は「ロータリーの心臓の鼓動」とよくいわれます。地域の市民生活に根をおろした生活改善、向上に役立つ、ためまぬ努力ではないでしょうか。

歴史および目的

ロータリー史において、創始者ポール、ハリスが、1907年シカゴの市役所に公衆トイレを設置させるキャンペーンを始めた。それまで「親睦」を主体としてきたロータリーに「奉仕」という芽が育ち始めた最初のプロジェクトであり1912年の国際大会で奉仕の標語が発表され奉仕の精神が定着した。又、更に1923年の国際大会において、決議「23-34」が制定され、奉仕の哲学「超我の奉仕」とその理念が高揚された。

ロータリーに活力を一あなたの活力を

R.I.会長 ロイス・アビー

あなたの活力を、社会奉仕に

資料の中より重視すべき分野として

環境保全

地域社会の発展と併行して、残念なことながら生活環境が汚染されてゆきます。自動車公害による大気の汚染、農薬、工場排水、家庭の生活排水による河川の汚濁等々、地域の当局と手を取り合って問題解決に取り組む大きな課題ではないでしょうか。

高令者

日本人の平均余命も世界的長寿国となってまいりました。兎角家にとじ込め勝ちなお年寄りに「お元気ですか」の一声運動を起こしてはいかがでしょう。又クラブ例会において高令者会員に、敬意と尊敬を込めてご挨拶を申し上げれば、又老ロータリアンからも、よいアドバイスがいただけるのではないのでしょうか。

身障者

一口に身障者といっても範囲が広く、問題は深刻で我々健康者の想像を超えている。

盲の人、聾の人、啞の人、重度の心身障害の人、交通事故による後天的障害の人、何から手をつけどのようなキャンペーンを組むか、まづ実体調査、現状把握が先決であります。

なおこの他にも沢山ありますが次回にゆずります。会員の力で、社会奉仕に活力を!!

国際奉仕委員会の運営方針について

地区国際奉仕委員長 下 郷 弥太郎
(名古屋東南R.C.)

地区国際奉仕委員長森泰樹P.G.の下で副委員長を約10年勤めさせて戴いて参り、新年度は私に委員長をやれとの御命令です。

私の委員会には、青少年交換、世界社会奉仕、国際友好の3委員会が所属します。

青少年交換委員会は、長野県と地区が分離をして2年目になり、派遣人員が旧地区時代約15名でしたが、新276地区になり、次年度より愛知県のみで約15名を派遣することになりました。各クラブに於かれましても是非、積極的にこの問題に取り組んで戴きたいと思います。

世界社会奉仕(W.C.S.)委員会は、ここ数年、前赤津委員長が地区レベル、分区レベル、クラブレベルの奉仕に積極的に取り組んで戴き、件数、金額、内容共、日本一の実績を挙げて戴きました。新年度の対応につきましては、只今、水野委員長の下で、安藤、杉浦の両委員共、積極的に研究中の様です。

只今、決定して居りますことは、ガバナーの御賛同を得まして、地区国際奉仕委員会として比島へW.C.S.の視察団を派遣(私費)し、「一見は百聞に然ず」東南アジア地域の貧しい実情の一端を見て戴き、今後のW.C.S.に対応、協力して戴こうと企画しました。

本レターをお読みの時には既に会長宛に案内状が届いて居ると思いますが、各クラブ多数御参加の程を、是非御勧奨下さい。

国際友好委員会は本年より地区に新設されました新しい委員会です。

親睦、友好、クラブ提携を中心に、大竹、片山の両委員さんに活躍して戴くことになって居ります。

ここで私の所信の一端を述べさせて戴きます。竹下総理が、世界に向って、日本はあらゆる分

野に於いて、「世界に貢献する日本」になる様、努力をしようと施政方針に述べられました。日本を取りまく、世界の情勢は一変しつつあります。

私は日本のロータリーもこの情勢の変化、並びに竹下さんの方針に少しでも協力する様、奉仕の対応を変えて行かねばならない様に思います。

各クラブに於かれましても、奉仕の基本方針を今少し見直して戴き、国内重点で進んで参りましたのを、世界に目を向けて変化をさせて戴きたいものと存じます。

青少年と共に

地区青少年奉仕委員長 福 山 巧
(名古屋南R.C.)

8年間地区青少年奉仕委員長を務められた、パストガバナー川瀬さん、大変長らくご苦労様でした、この間色々と青少年の歩む道を御薫陶戴き誠に有難うございました。本年度委員長の大任を仰せつかり、大委員長の功績を受け継ぎ、重大な責務を痛感して居ります。幸にして、又顧問カウンセラーとして奥谷パストガバナーを迎え、御指導を仰ぎ頑張ります。

本年度もR.I.会長テーマとして、「ロータリーに活力を—あなたの活力を」と青少年奉仕に力を、我々としてピッタリの御方針ではないかと思ひます。奉仕は行動で実践しなければ若い青少年はついてまいりません。次代を託すという事がロータリアンの責務と考えます。その点では是非とも、地域の青少年の育成にお手伝い下さい、近年非行少年対策又薬物乱用など少年犯罪も増加して居り、交通少年団、ボーイスカウト、ガールスカウト、海洋少年団など手近かにある地域の諸団体の会合に、積極的に出席して戴き一緒になってものを考え、話し合い、遊んでみて、はじめて心の通った本当の青少年奉仕

活動が出来ると思います。第276地区はローターアクト、インターアクトのクラブ数が未だ他地区に比べ低位にあります。結成に力を注いで下さい。青少年の国際理解をもとめるには海外交流が大切であります。本年度より高沢ガバナーの御理解でインターアクトにも海外研修の道が再開されます。結成にはいろいろ多難な問題があるかと思いますが誰かがやらなければいけませんのであり、それがロータリアンの特権であります、青年功績賞という制度もあります、自分の貴重な時間をさいて奉仕活動をしている丈に、大変喜ばれ、感謝されます。本年度は是非とも実現させるために、あなたの活力を青少年奉仕に捧げて下さるようお願いします。

我々は社会に対する義務や責任を、次の世代任せにして逃れることは出来ない。若者に進むべき道を示すのは確かによいことだが、彼らと共に歩む方がもっとよいことである。

ロータリー財団への寄付についての考察

地区ロータリー財団委員長 楠 仙三
(名古屋R.C.)

第276地区のロータリアン各位には長年に亘って熱心に、ポール・ハリス・フェローを含めたロータリー財団への寄付に御努力いただき、1986—87年度の第260地区は、世界第一位の寄付額を集めることができました。各位の御協力に心から感謝しております。

長野県と分かれて第276地区となった1987—88年度（田中ガバナーの年度）には、寄付額のランキングがどのように変化するかは、未だ判明していませんが、今、財団への寄付は世界的に見て大きな変化を招来しております。

ポリオ・プラス運動がロータリー財団の大きなプロジェクトとして取り上げられる前までは財団への寄付は全て“無条件寄付”の名称で呼ばれている種類の寄付でした。

各地区から毎年海外に派遣出来る財団奨学生の人数は前年度の“無条件寄付額”の多寡によって決められます。

従って、1988—89年度（高沢ガバナーの年度）に当276地区に割り当てられた派遣奨学生の数は14名であり、これは、1986—87年度（福田ガバナーの年度）の当地区の無条件寄付額に依るものです。

ポリオ・プラス運動の開始後は“ポリオ・プラスへの寄付”もロータリー財団への寄付であり、ポール・ハリス・フェローになることも出来、更にポリオ・プラスへ寄付した場合は希望によって免税の特典もあります。（無条件寄付には免税の特典はありません。）

然し、“ポリオ・プラスへの寄付”は“無条件寄付”とは別個の取扱いとなります。従って派遣奨学生の獲得には、無関係のものです。

現在のロータリー財団管理委員会委員長、カルロス・カンセコ氏（前R.I.会頭）は、本年3月末日付の特別書簡にて、

「本年度（1988年2月迄）のポリオ・プラスを含む財団への寄付額は、過去最高額となる事が確実である。（昨年度年間財団寄付額、4800万ドル、本年度は2月迄で、4500万ドル）ところが、無条件寄付は、昨年同時期よりも49%も減少しており、此れは地区よりの派遣奨学生の数に大きな影響を与えるので、無条件寄付に努力するように」との希望を伝えて来ました。

私の私見ではこの要望は少々無理であると思います。ポリオ・プラス運動も立派な目的を持ったプロジェクトであると思いますが、奨学生の派遣も此れに劣らぬ大事なプロジェクトであると思っています。

第276地区のロータリアン各位は、この事情をよく御理解の上で財団への寄付の種類を御選択頂くよう切にお願いする次第です。

尚、高沢ガバナーは、ポリオ・プラスへの寄付はR.I.が要求して来た金額以上の寄付は要望しないとの方針を表明しておられます。

第276地区米山奨学会 運営方針

地区米山記念奨学会委員長 河 合 利 周
(名古屋北R.C.)

昭和63年5月21日、本年度地区米山記念奨学会委員会の運営について委員会を開催し次の事を相談致しました。

1. 8月 カウンセラー会議

米山奨学生のお世話をして貰っている
カウンセラーとの懇談会

(地区委員会開催予定)

9月、10月の米山月間について

尾張地区38クラブ、三河地区22クラブを分けて各クラブの米山委員長会議を催したい(分区代理、ガバナーとも相談の上)

(地区委員会開催予定)

12月 工場見学

(地区委員会開催予定)

3月 終了奨学生歓送会

(奨学生、カウンセラー、指導教官等)

5月 新米山奨学生の為のオリエンテーション及び歓迎会

(地区委員会開催予定)

2. 米山奨学会への寄付金の奨励:

特に米山準功労者(30,000円以上の寄付者)の奨励及び米山奨学会の役割のPR

3. 米山奨学生の世話:

カウンセラーと奨学生との関係を密にする様努める。

高沢ガバナー、石川地区幹事とよく相談の上以上の運営に努めたい。

地区委員会 奥谷P.G.(地区米山奨学会カウンセラー)

河合委員長(名古屋北R.C.)

米田委員(岡崎R.C.)

今井 〃 (名古屋南R.C.)

オブザーバー 安野P.G.(第276地区担当理事)

「友」は情報の源泉

地区ロータリーの友委員長 高 橋 義 雄
(一宮R.C.)

世はまさに情報化時代といいますが、ロータリーのロータリー情報不足ということが、しばしば声高になっています。情報と広報の強化という課題が台頭しているのもご承知の通りです。どちらも「友」委員会にとり、対応すべき方向を示すものと思います。

当委員会は、公式地域雑誌としての「ロータリーの友」の目的に協力するほか、「友」地区委員の任務(ロータリーの友誌上に「マイタウン・マイディストリクト」「地区のたより」の取材編集と執筆)、各クラブ段階における雑誌週間行事、「友」への関心喚起と例会での記事紹介、「友」への投稿、関心度調査などの実施と奨励、このほか、ロータリー情報の源泉として「友」の精読と活用、「友」の編集方針、現況などをクラブ雑誌委員会によく周知につとめ、認識と関心を広げる——なども必要と考えております。

なお、「友」誌上の「マイタウン・マイディストリクト」と「地区のたより」は身近かな話題として、地区のため開放されたスペースであります。皆さんから、これは——と思われるニュースの提供をぜひお願いしたい(内容は「友」毎号の同欄を参照)。当地区の担当は、「マイタウン・マイディストリクト」は、1988年8月号と1989年2月号(1988年12月15日締切)、「地区のたより」は1989年4月号(1989年1月20日締切)です。クラブ雑誌委員長さんからのお手紙、電話をお待ちしております。

地区だより

第1回 地区諮問委員会開催

1988—1989年度の第276地区の第1回地区諮問委員会が、名古屋の名鉄グランドホテルにおいて、7月9日午前11時30分より午後2時30分にかけて開催されました。

〈協議事項〉

- ①1987～'88年度地区会計決算(案)承認の件
- ②地区諮問委員会メンバーに盛田ガバナー・ノミニー追加承認の件
- ③1990～'91年度国際ロータリー第276地区ガバナー・ノミニー候補推薦の件
- ④1988～'89年度ロータリー情報セミナー開催の件
- ⑤1988～'89年度「意義ある業績賞」募集と選考委員選任委嘱の件
- ⑥1988～'89年度地区大会企画委員委嘱の件
- ⑦I.G.F.開催日程とリーダー、アドバイザー委嘱の件
- ⑧R.財団奨学生の選考と選考委員の委嘱の件
- ⑨1988～'89年度インターアクト地区協議会の件
- ⑩拡大についてスポンサークラブ豊橋R.C.特別代表河合圭吉承認の件
- ⑪W.C.S.海外視察旅行の件
- ⑫インターアクトクラブ海外研修旅行の件
- ⑬次期1990～'91年度地区協議会ホストクラブの件
- ⑭第260地区との連合地区大会開催の件
- ⑮1988～'89年度米山奨学会評議員推薦の件
- ⑯地区拡大・会員増強会議開催の件
- ⑰その他

1990—1991年度

地区ガバナー・ノミニー候補推薦について

1990—1991年度のガバナー・ノミニー候補として、適切な方を地区指名委員会で求めることになりました。各クラブにおいて適切な会員を地区指名委員会に推薦して下さい。

尚、地区ガバナー・ノミニーの資格条件として、手続要覧の国際ロータリー細則の第12条第7節の(b)地区ガバナー・ノミニーの資格条件を満たすことが、必要となります。

〆日は、9月30日必着となっていますのでご注意ください。

地区指名 委員長 福田浩三 (バスト・ガバナー)
委員会 委員 田中 徹 (")
高沢 隆 (ガバナー)

1988—1989年度

第276地区 地区大会企画委員会委員決定

去る7月9日(土)名古屋にて開催された第276地区、地区諮問委員会にて、1988—1989年度の地区大会の企画委員会の設置と委員の決定承認が行われ委嘱されました。

委員長 高沢 隆 (ガバナー)
委員 福田浩三 (バストガバナー)
田中 徹 (")
太田一造 (大会実行委員長)
市川裕士 (大会実行幹事)
伊東基夫 (直前大会実行委員長、半田R.C.)
岡戸伍式 (" 幹事、 ")
吉田五郎 (三河第二分区代理)
石川和昌 (地区幹事)

豊橋に新クラブ!!

特別代表に河合圭吉氏委嘱さる

第276地区に、62番のクラブが、豊橋ロータリークラブのもとに誕生することになり、7月9日(土)に開催された第276地区の諮問委員会にて、豊橋ロータリークラブ会員の河合圭吉氏が、特別代表となることについて決定承認され、委嘱されました。

特別代表 河合圭吉氏の経歴

(スポンサークラブ：豊橋R.C.)

T. 2. 3.14生まれ、S.26.11.10豊橋R.C.入会
S.45～46クラブ会長、S.52～53地区会計長
・大一青果(株)会長 ・豊橋乾藺取引所理事長
・前豊橋商工会議所会頭 ・愛知県教育委員

“意義ある業績賞”選考委員決定

7月9日(土)開催された第1回地区諮問委員会において、“意義ある業績賞”を選考する選考委員が、次の通り承認され、委嘱されました。

選考委員会 委員長 奥谷博俊 (バスト・ガバナー)
委員 福田浩三 (“)
田中 徹 (“)
高沢 隆 (ガバナー)

“意義ある業績賞”にご応募下さい!!

“意義ある業績賞”とは、ロータリー・クラブの意義ある業績を、それにふさわしい証明書によって表彰するプログラムで、各地区の地区ガバナーが受賞クラブを選ぶものと定められています。

地区ガバナーが意義ある業績賞の受賞クラブを選定する場合の参考基準を挙げますと、次の5項目となります。

- (1)プロジェクトは、その土地において、或はその土地のみに限らず、誰の目からも重要とみられている問題またはニーズを対象とするものでなければならない。
- (2)プロジェクトは、単なる金銭的な奉仕でなく、クラブ会員の大半または全員が直接参加するようなものでなければならない。
- (3)プロジェクトは、他のロータリー・クラブもこれと競争して行うことができるようなものでなければならない。
- (4)プロジェクトは当該年度に始められたものであることを要しないが、そのプロジェクトが現に実施中のものであること、もしくは、その表彰の行われるロータリー年度に終わられたものであることを立証するものを提出しなければならない。
- (5)いかなるクラブも、同一プロジェクトにつき重ねて業績の認証を受けることはできない。

申請に関する詳細は、地区ガバナー事務所内

の地区選考委員会宛、お問合せ下さい。

(1)申請書提出締切日…11月末日必着

(2)申請書提出先……………地区ガバナー事務所内、
地区選考委員会

(3)申請書書式……………自由

尚、選定に関する手続方法等については、手続要覧第1部、第2章ロータリー地区内の“クラブの意義ある業績の表彰”の項をご参照下さい。



R.I.だより

ロイス・アビーR.I.会長来日

1988—1989年度のロイス・アビーR.I.会長が来日することになりました。

8月8日に大阪に到着し、翌8月9日には京都のグランドホテルにて、歓迎晩餐会が催されます。その後、高松R.C.等を公式訪問して、8月12日には、フィリピンに向けて離日する予定です。

拙冬忠氏、日本支局長を引退

1988年6月30日付をもって、日本支局長を引退されました。氏は、18年間に渡り、エバンストンの中央事務局の日本担当奉仕課長を振出しに、1981年3月以来、日本支局長を努めてきましたが、この度の引退は、多く人々から、名残り惜しく思われています。

伊藤善久氏、日本支局長に就任

1981年10月以来、日本支局において奉仕課課長を努めていましたロータリアン伊藤善久氏は、1988年7月1日付をもって、日本支局長に就任いたします。氏の永年の経験にもとずいた活躍を期待致します。

尚、後任の奉仕課長には、多数の応募者の中から、大島四郎氏が選ばれ、就任致しました。

地区委員会報告

来日ロータリー財団奨学生カウンセラー決定

第276地区ロータリー財団委員会
委員長 楠 仙 三

今年度来日するロータリー財団奨学生カウンセラーが、下記の通り決定しましたので御報告致します。

1. ロバート・ステファン・ミッチェル君 (オーストラリア88—89年来日)

○カウンセラー

氏名：川島保之助 (名古屋守山クラブ)
住所：〒463 名古屋市守山区字町南126
電話：052-791-3083 (自宅)
052-791-2133 (守山荘病院)

2. ダイアナ・エリザベス・ローゼンタール嬢 (アメリカ88—89年来日)

○カウンセラー (前半の半年間)

氏名：国 松 勇 (名古屋中クラブ)
住所：〒465 名古屋市名東区亀の井2-275
電話：052-702-0068 (自宅)

○カウンセラー (後半の半年間)

氏名：内 藤 明 人 (名古屋西クラブ)
住所：〒467 名古屋市瑞穂区春山町1-6
電話：052-831-7357 (自宅)

3. カレン・アイリーン・ミークス嬢 (アメリカ89—90年来日)

○カウンセラー

氏名：森 武 保 (名古屋和合クラブ)
住所：〒450 名古屋市中村区名駅4-24-5
電話：052-582-7821 (自宅)

1989—1990年度

青少年交換学生募集について

第276地区青少年交換委員会
委員長 木 本 精之助

国際ロータリー青少年交換学生募集について、相手地区と交換について交渉中ではありますが、下記のように交換を行なうことになりますので、候補者を選考の上、推薦下さるようお願い致します。

(1)1989年3月～90年3月 1カ年交換 4～5名

①交換先 D.952、957、963、975、983地区 (オーストラリア) の予定

②対 象 出発時16才～18才の高校生 男・女

(2)1989年8月～90年8月 1カ年交換 10～11名 555、595、

①交換先 D.501、502、503、540、550、552、555、 595、596、633、 ESSEX, CENTRAL STATES (複合地区) 各地区

(アメリカ、カナダ) の予定

②対 象 出発時16才～18才の高校生 男・女

(3)別紙志願書により、交換希望国名を明記して 下記へ申し込むこと。

●推薦は、1クラブ2名以内とします。

●申込期日：1988年7月31日迄

●送 付 先：〒460 名古屋市中区上前津二丁目5番29号 名古屋YMCA内 (TEL052-322-6046)

国際ロータリー 第276地区
青少年交換小委員会

委員長 木本精之助宛

(4)推薦クラブは、来日学生を同数受入れる事が 条件となります。

ホスト家庭に対しては、受け入れクラブを通じて月額40,000円の補助金を、地区委員会よりお渡し致します。

(5)1988年8月～9月中旬に選考テストと面接によって候補者の決定を行ないます。 テストの期日は後日通知致します。

青少年交換学生派遣について

ロータリー青少年交換学生の目的

ロータリー交換学生はロータリー国際青少年交換プログラムに基き、青少年を一定期間外国のロータリアンの家庭にホストしていただき、その家族の一員として過ごし、現地の学校に通学してその国の言語を修得する事は勿論、これらの生活を通じて風俗・習慣・文化を見聞し乍ら国際理解と親善を推進する人、すなわち善意と国際理解のロータリー使節であります。

(Rotary Ambassador of Goodwill and International Understanding)

当方276地区では毎年20名前後の青少年を海外へ派遣し、又受入れております。

ロータリー青少年交換学生の概要

(1)期間と相手国

D.276地区では、アメリカ・カナダ・オーストラリア・その他の国を対象として、1カ年交換を実施しております。

1カ年交換は、8月中旬又は3月中旬に出発し7月下旬又は3月中旬に帰国することになっております。

(2)交換の条件

- ①受入れロータリークラブまでの往復旅費、傷害・健康保険料及衣類は本人（父兄）が負担する事になっております。
- ②交換学生は、出発時において16才～満18才未満、となっております。
- ③定められた期間以上滞在する事は許されません。
- ④学校に要する費用（授業料、教科書、他）は、原則として受入れロータリークラブが負担することになっております。又、制服は本人の負担する場合があります。
- ⑤持参するお金は原則として、U.S. \$ 300程度と先方から指定された保険金の掛金、及帰国してから必要の日本円2～3万円となっております。尚特別お金が必要となった時は送金する事ができます。
- ⑥小遣いとして受入れロータリークラブから月々本人に若干額（\$ 30～\$ 40）が支給されます。
- ⑦食事と宿舎は勿論受入れロータリークラブにより提供されます。原則として受入れロータリアンの家庭に入り、通常3～4カ月毎にホストファミリーが変り、相手国の風俗・習慣になじみつつ生活をいたします。

第276地区 1988—1989年度 青少年交換計画

〔派遣〕 オーストラリア派遣学生 1987年3月末出発 1988年3月帰国

氏 名	推せんR.C.	学 校	国名	派遣先及びホストR.C.
大 島 三 幸	犬 山	犬山南高		D.963 Ipswich North

カナダ派遣学生 1987年3月出発 1988年3月帰国

氏 名	推せんR.C.	学 校	国名	派遣先及びホストR.C.
宮 下 恵 子	西春日井	西春高		D.555 Regina

アメリカ派遣学生 1987年8月出発 1988年7月帰国予定

氏 名	推せんR.C.	学 校	国名	派遣先及びホストR.C.
持 田 洋 介	名古屋守山	旭ヶ丘高	U.S.A.	502 Olympia
松 岡 多加倫	名古屋大須	愛知高	〃	503 Burien White Center
都 築 守	高 浜	刈谷高	〃	552 Texico Farwell
舟 橋 玄 人	小 牧	味岡中	〃	649 Monticello

1988年3月出発
オーストラリア派遣

氏 名	学 校	推せんR.C.	派遣先R.C.
松 山 恵 津	東海女子高・1年	小 牧	D.952
永 谷 尚 美	光ヶ丘女子高・2年	岡 崎 南	D.983

1988年3月出発
カナダ派遣

氏 名	学 校	推せんR.C.	派遣先R.C.
丹 羽 恵理名	犬 山 南 高・3年	江 南	D.555

1988年8月出発
アメリカ派遣

氏 名	学 校	推せんR.C.	派遣先R.C.
神 谷 知 子	高浜市立南中・3年	高 浜	D.552
大久保 英 彦	岡崎城西高・1年	岡 崎 南	Central States
竹 内 幸 恵	半 田 高・1年	半 田 南	ESSEX
波多野 里 美	金城学院高・2年	名古屋空港	D.501
横 井 千 晴	愛教大付属高・2年	刈 谷	Central States

1989年3月出発
アメリカ派遣

氏 名	学 校	推せんR.C.	派遣先R.C.
水 野 教 子	西 尾 高・2年	高 浜	D.540

〔受 入〕

オーストラリア
よりの受入学生
1987年1月来日
1988年1月帰国

氏 名	性別	国名	地区及推せんR.C.	ホストR.C.
Linelle Redgen	F		D.963 Jandowae	犬 山
Denise Ann Power	F		D.971 Coonia	名古屋和合

アメリカ・カナダ
よりの受入学生
1987年8月来日
1988年7月帰国予定

氏 名	性別	国名	地区及推せんR.C.	ホストR.C.
Patrick llealy	F	U.S.A.	D.587 Austin	名 古 屋
Jay Mehlhorn	F	〃	D.550 Tempe Tricity Sunset	名古屋西
Erjc Shore	M	〃	D.649 Hoopeston	小 牧
Jennjfer Goodman	F	〃	D.503 Woodinville	名古屋大須
Victor Vargas	M	〃	D.552 Deming	高 浜
Grace Nakagawa	F	〃	D.502 East Btemerton	名古屋守山
Nicole Langdale	F	Canada	D.555 Charlswood	西春日井

1988年1月来日
オーストラリアより

氏 名	男女	推せんR.C.	受入R.C.
Liza J. Hoffmann	女	D.952 Mobilong	小 牧
Zara J. Greenhill	女	D.983 Latrobe	岡 崎 南

アメリカ・カナダ
よりの受入学生
1988年8月来日
1989年7月帰国予定

氏 名	性別	国名	地区及推せんR.C.	ホストR.C.
Dakota R. Smjth	M	U.S.A.	D.726 Riverhead	半 田 南
Kurt K. Niebuhr	M	U.S.A.	D.501 North Pole	名古屋空港
Glenn J. Tattersall	M	Canada	D.633 Wairton	西春日井
Mark B. Shainman	M	U.S.A.	D.552 Santafe	高 浜
Melissa A. Todd	F	U.S.A.	D.654 Monticello	岡 崎 南
Deney R. N. Austin	F	U.S.A.	D.540 Nampa	高 浜
Tracey E. King	F	Canada	D.555 Kenora	江 南

新年度分「ロータリーの友」英語版 ご注文受付中!

ロータリーの友委員会
委員長 高橋 義雄

ロータリーの友事務所より7月1日付で、幹事さん宛に本年度の「友」英語版刊行計画とご注文用紙を送付する予定でございます。本年度は第29号誌(冬号)を11月に、第30号誌(春号)を明年4月に刊行の予定です。各クラブにて多数のご購読をお願い致します。

グリーティング・カード付

クリスマス・カードを代りにお使いいただけるよう、冬号は表紙と目次の間に色刷美麗のグリーティング・カードを添付します。サイン欄も設けてあります。

その他と活用方法

- (1)海外の姉妹R.C.に定期送付
- (2)1989年度国際大会(ソウル)参加の際に携行、外国会員に配布
- (3)海外でメーク・アップのとき贈呈
- (4)各種ロータリー交換学生本人およびそのホストまたはスポンサーR.C.に贈呈
- (5)海外の取引先に贈呈
- (6)R.I.発行の公式名簿を利用して、外国のR.C.の会長に贈る(例:同じ頭文字のR.C.の会長に贈る)

代金は1口分(29号と30号誌各1冊、合計2冊)1,000円(郵送料込み)です。

海外代行郵送も致します

先方の住所・氏名をいただければ、代行郵送も致します。国際奉仕の一助として是非ご活用ください。

郷土玩具

豊橋R.C.会員

成田 嘉則

(成田記念病院理事長)

豊橋R.C.から3人目のガバナーが誕生致しました。誠に喜びにたえません。

高沢隆ガバナーの御活躍、御健勝をお祈りしまして、豊橋の郷土玩具を御紹介します。

全国各地に広く分布している郷土玩具のなかで、質、量ともに優れてよく目立つのは天神の姿をかたどった人形であり、土人形、練り物、張子製があります。

三河地方では3月3日の桃の節句に、赤天神を飾る慣習があり、生まれた子供が天神様(菅原道真公)にあやかって、文筆に秀でた立派な人間に育つようにとの、親の願がこもっています。赤衣姿の赤天神は江戸末期に練り物で創られ、明治32年(1899)吉田孫吉が曲尺手町で土雛の赤天神を造り世に広めました。

現在、受験合格のマスコットとして非常に人気があります。

三河張子面として、武人がいたずらな神と戦ってこらしめ、和解して喜びの舞を行ったと云う伝説を神事にした中八町神明社の「鬼まつり」の鬼(赤鬼、黒鬼、青鬼)と天狗の張子面は、型作りから仕上げまで一貫した手造りで古い和紙を使うのが自慢の品で、全国から愛好者が訪れ、厄除け、招福の御守りとして珍重されています。



地区内クラブの

ビジターフィー変更のご案内

(7月第1例会より)

	旧	新
名古屋南	3,000円	3,200円
名古屋中	3,000円	3,200円
名古屋西	3,000円	3,300円
名古屋千種	2,800円	3,000円
名古屋東	3,000円	3,300円
名古屋名東	2,800円	3,200円
名古屋和合	2,800円	3,200円
一宮北	2,300円	2,500円
奥三河	1,000円	1,500円

8月の行事予定

- 8月9日(火) R.I.会長歓迎晩餐会(京都)
 8月24日(水) 米山奨学会評議員会(東京)
 8月25日(木) 地区大会企画委員会(刈谷プラザホテル)
 8月27日(土) 地区拡大・会員増強会議(豊橋商工会議所)
 8月30日(火) 米山奨学委員長会合(東京)

8月のガバナー公式訪問日程

2日(火) 名古屋名東	19日(金) 蒲 郡
4日(木) 岡 崎 東	20日(土) 一 宮
6日(土) 名古屋守山	22日(月) あ ま
8日(月) 尾 西	24日(水) 瀬 戸
10日(水) 岡 崎	26日(金) 岡 崎 南
12日(金) 春 日 井	29日(月) 名古屋東
17日(水) 碧 南	30日(火) 豊川宝飯

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます
 7月9日 中村幸夫(蒲郡R.C.)

健康に一言

アルコールの上手な飲み方



暑くなってビールのシーズンがやって来ました。最近ではドライビールといって一段とおいしいビールが飲めるようになりましたのでビール党にはたまらない季節です。

又、酒党にも冷やで飲めるのが色々出ていますので、これも又メートルが上がる一方でしょう。

しかし上手に飲めばむしろストレス解消、食欲増進などと薬効もあるのですが、度を過すと逆効果となります。長年、大量に飲んでいまして肝臓をはじめとていろいろな臓器に障害が現われます。また老化も早まりますので、ボケやすくなります。そうならないためのお酒の上手な飲み方のコツを教えましょう。

1. 人が生涯に飲めるお酒の量は各人で決まっていると云われています。自分の持ち分を飲み干してしまうと、たとえ少量でも体に障害になります。つまり飲めない体になってしまいます。おいしいお酒やビールをながーく楽しむためには、週休2日制。つまり週2日は飲まない日をつくりましょう。
2. 体の中に入ったアルコールの消えてゆく速度は1時間に7gです。アルコール1単位と云いますと、酒1合、ビール1本、ウィスキーダブル1杯、焼酎2/3合、ワイン2杯が同じアルコールの量ですが、この1単位のアルコールが体の中から消えて行くのに3時間かかります。お酒をしたたかに飲むと二日酔や翌日仕事場でアルコールの臭いが残ります。夜12時迄には切り上げましょう。
3. 飲む量が増えると耐性が出来て段々強くなり、危険量でないと酔わなくなります。先程のアルコール単位で、出来れば1～2単位位、多くても3単位を限度としてほしいと思います。
4. イッキ飲みや駆けつけ3杯では血中のアルコール濃度が急にあがって、死亡する人もあります。胃の中に食べ物があるとアルコールの吸収はおそく、酔い方もマイルドになり、胃壁の保護にもなります。つまみや食事を十分食べながらゆっくり飲めば安心です。
5. 肝臓はアルコールを分解する役割を担っているのですが、飲みすぎが続くと疲労します。肝機能検査の一つであるガンマーGTPの数値は1つの目安になります。定期的な検査を忘れずに、楽しい飲む方を身につけて下さい。

森 澄地区副幹事
 (森外科院長)